

# Juniper SRX 日本語マニュアル

1. Junos OS インストール&アップグレード

# はじめに

---

Junos OS のインストールとアップグレード方法について説明します。

※手順内容は「SRX300」、Junos OS「15.1X49-D140」にて確認を実施しております。

2018年8月

# アジェンダ

---

1. ソフトウェアのダウンロード
2. ソフトウェアのインストール準備
3. CLI からのインストール(SRX に一旦コピー)
4. CLI からのインストール(FTP サーバ上から)
5. CLI からのインストール(USB メモリから)

# 1. ソフトウェアのダウンロード

---

下記サイトより Junos OS ソフトウェアとリリースノートをダウンロードします。

<http://www.juniper.net/support/downloads/junos.html>

## 2. ソフトウェアのインストール準備

---

- ① リリースノートを参照すると、新しい機能、デフォルト動作の変更、既知の制限や不具合が記載されています。  
リリースノートは下記サイトからも入手が可能です。  
[http://www.juniper.net/techpubs/en\\_US/junos/information-products/pathway-pages/srx-series/index.html](http://www.juniper.net/techpubs/en_US/junos/information-products/pathway-pages/srx-series/index.html)
- ② SRX にコンソール接続を行い、インストール中または再起動時のログを保存してください。  
インストールに問題が発生した場合はそのログがサポートに必要となります。

## 2. ソフトウェアのインストール準備

- ③ 再起動時に Candidate Config は消えてしまうため、Commit が行われているか確認してください。

```
user@srx# top  
user@srx# show | compare
```

上記コマンド結果で保存する設定がある場合は Commit を実施してください。

- ④ 以下のコマンドを実施し、Config のバックアップを保存してください。

```
user@srx> show configuration | no-more
```

- ⑤ 現在の Junos OS と Config をメディア(USB/CF)へ保存してください。

a. USB メモリの準備

b. 以下のコマンドを実施し、USB メモリへ snapshot を保存

```
user@srx> request system snapshot media usb
```

## 2. ソフトウェアのインストール準備

---

- ⑥ Junos OS ソフトウェアイメージをコピーする場合(J-Web からのソフトウェアインストールなど)は、CF サイズを確認し、未使用的ファイルを削除してください。

- ・CF サイズの確認コマンド

```
user@srx> show system storage | match cf
```

- ・未使用ファイルの削除コマンド

```
user@srx> request system storage cleanup
```

## 2. ソフトウェアのインストール準備

Junos OS イメージのサイズが CF サイズに収まらない場合は次の方法を試してください。

- ・/var/log ディレクトリより traceoption ファイルや不必要的ログを削除してください。  
削除を行ったログは復旧しませんのでご注意ください。

```
user@srx> clear log <log-filename>
```

- ・バックアップイメージを削除してください。  
バックアップイメージを削除すると“request system software rollback”コマンド  
を使用した rollback が行えなくなることに注意してください。

```
user@srx> request system software delete-backup
```

- ・大容量データとなっている CF 上のディレクトリを探してください。

```
user@srx> show system directory-usage /cf
```

- ・ディレクトリを参照して手動でファイルを削除します。※削除するファイルに注意

```
user@srx> file list /var/tmp  
user@srx> file delete /var/tmp/xyz
```

### 3. CLI からのインストール(SRX に一旦コピー)

ソフトウェアを SRX にコピーし、CLI を使用してインストールを実施します。

#### ① SCP もしくは FTP を使用し SRX の /var/tmp ヘソフトウェアをコピー

##### ・SCP

```
user@srx> scp junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz user@srx:/var/tmp/junos-srxsme-  
15.1X49-D140.2-domestic.tgz
```

##### ・FTP

```
user@srx> ftp <ip address of local ftp server> (and login)  
user@srx> lcd /var/tmp  
user@srx> bin  
user@srx> get junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz  
user@srx> bye
```

#### ② 以下のコマンドを実行し、ソフトウェアをインストール

```
user@srx> request system software add no-copy /var/tmp/junos-srxsme-15.1X49-D140.2-  
domestic.tgz  
user@srx> request system reboot
```

## 4. CLI からのインストール(FTP サーバ上から)

FTP サーバ上のソフトウェアを、CLI を使用してダウンロードおよびインストールを実施します。

- FTP サーバからソフトウェアを取得し、インストール後に再起動

```
user@srx> request system software add no-copy ftp://user:pass@172.16.1.1/junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz  
user@srx> request system reboot
```

※no-copy オプションはストレージの容量を確保するために使用します。

- FTP サーバ(anonymous)からソフトウェアを取得し、インストール後に再起動

```
user@srx> request system software add no-validate ftp://172.16.1.1/junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz  
user@srx> request system reboot
```

※no-validate オプションはインストールする Junos OS との Config の互換性をチェックしない場合に使用します。

## 5. CLI からのインストール(USB メモリから)

USB メモリから、CLI を使用してインストールを実施します。

- ① Junos OS ソフトウェアを USB メモリへ保存
- ② USB メモリに関連付けられている USB デバイス ID を検索

```
user@srx> start shell  
user@srx% ls /dev/
```

- ③ USB メモリをスロットに挿入(slot 0 の場合は以下のようになります。)

```
user@srx # umass0: USB USBFlashDrive, rev 2.00/1.00, addr 2  
da0 at umass-sim0 bus 0 target 0 lun 0  
da0: <USB USBFlashDrive 0100> Removable Direct Access SCSI-0 device  
da0: 1.000MB/s transfers  
da0: 980MB (2007040 512 byte sectors: 64H 32S/T 980C)
```

※通常 da#s1 となります(上記の場合、da0s1)。

## 5. CLI からのインストール(USB メモリから)

### ④ マウントポイントを作成

```
user@srx% mkdir /tmp/usb
```

### ⑤ USB メモリをマウント

```
user@srx% mount -t msdosfs /dev/<drivelabel> /tmp/usb
```

・<例>slot 0の場合

```
user@srx% mount -t msdosfs /dev/da0s1 /tmp/usb
```

マウント後、ファイルの確認

```
user@srx% ls /tmp/usb
System Volume Information          junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz
```

## 5. CLI からのインストール(USB メモリから)

### ⑥ シェルモードを終了し、ソフトウェアインストール

```
user@srx% exit  
user@srx> request system software add /tmp/usb/junos-srxsme-15.1X49-D140.2-domestic.tgz  
no-validate no-copy
```

### ⑦ インストール完了後、SRX を再起動

```
user@srx> request system reboot
```